

学校コード F113310103457

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 研究科の設置

注1

届出

注2

日本体育大学大学院 体育学研究科 体育学専攻 (博士課程)

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人日本体育大学
令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局名 大学院教学センター

職名・氏名

ジムチョウ
事務長 伊シイ
サズリ
石井 砂織

電話番号

03-5706-0915

(夜間)

03-5706-0900

e-mail

ishii_s@nittai.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

日本体育大学大学院

＜体育学研究科 体育学専攻（博士課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	12
6. 附帯事項等に対する履行状況等	23
7. その他全般的事項	24

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人日本体育大学

(2) 大 学 名

日本体育大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(マツナミ ケンシロウ) 松 浪 健 四 郎 (平成23年6月)		
学 長	(グシケン コウジ) 具 志 堅 幸 司 (平成29年4月)	(イシイ タカノリ) 石 井 隆 憲 (令和3年4月)	任期満了のため変更 (令和3年4月1日) (3)
研究科長	(アエ ミチヨシ) 阿 江 通 良 (令和4年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください(作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」を確認してください)。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和4年度までの5年間)ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称(学位)	学位又は学科の 分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停 止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
体育学研究科 体育学専攻 博士(体育科学) 博士(体育実践学) 博士(コーチング科学) 博士(コーチング実践学)	体育関係	3 年	9 人	年次 編入 人	27 人		(基礎となる学部) 体育学部、スポーツ文 化学部、スポーツマネ ジメント学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 報告年度まで の平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	9人 (-) [-]	-	1.77倍	倍	
志願者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	17 (-) [2]	- (-) [-]			
受験者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	17 (-) [2]	- (-) [-]			
合格者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	16 (-) [2]	- (-) [-]			
B 入学者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	16 (-) [2]	- (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	1.77				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	16 [2] (-)	- [-] (-)	
2 年次			- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3 年次					- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
4 年次							- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
計			- [-] (-)	- [-] (-)			- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	16 [2] (-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	0 人	0 人	平成30年度	0 人	人	
令和元年度	0 人	0 人	平成30年度	0 人	人	
			令和元年度	0 人	人	
令和2年度	0 人	0 人	平成30年度	0 人	人	
			令和元年度	0 人	人	
			令和2年度	0 人	人	
令和3年度	0 人	0 人	平成30年度	0 人	人	
			令和元年度	0 人	人	
			令和2年度	0 人	人	
			令和3年度	0 人	人	
令和4年度	16 人	0 人	平成30年度	0 人	人	
			令和元年度	0 人	人	
			令和2年度	0 人	人	
			令和3年度	0 人	人	
			令和4年度	0 人	人	
合 計		0 人		0 人	人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{16} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜体育学研究科 体育学専攻（博士後期課程）＞

（1）－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	研究報告演習	1前	2			3					
	英語論文ライティング	1～3通			2						1
	小計(2科目)	—	2	0	2	3	0	0	0	0	1
専修科目	《体育科学学位プログラム》 (体育スポーツ文化社会学コース)										
	体育スポーツ文化社会学特論	1～3前		2		4	1				
	体育スポーツ文化社会学研究法	1～3前		2		4	1				
	(トレーニング科学コース)										
	トレーニング科学特論	1～3前		2		4	3				
	トレーニング科学研究法	1～3前		2		4	3				
	(健康スポーツ医科学コース)										
	健康スポーツ医科学特論	1～3前		2		5					3
	健康スポーツ医科学研究法	1～3前		2		5					3
	(身体教育・健康教育コース)										
	身体教育・健康教育学特論	1～3前		2		4	1				
	身体教育・健康教育学研究法	1～3前		2		4	1				
	《コーチング科学学位プログラム》										
研究指導科目	コーチ育成特論	1～3前		2		1					
	コーチング学研究法特論	1～3前		2		3					
	小計(10科目)	—	0	20	0	19	5	0	0	0	3
	特別研究指導Ⅰ	1通	2			20	5				4
	特別研究指導Ⅱ	2通	2			20	5				4
研究指導科目	特別研究指導Ⅲ	3通	2			20	5				4
	小計(3科目)	—	6	0	0	20	5	0	0	0	4
合計(15科目)			—	8	20	2	20	5	0	0	5
卒業要件及び履修方法											
(修了要件) 3年以上在学し、各学位プログラムが定める修了に必要な授業科目を12単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。											
(履修方法) <体育科学学位プログラム> 共通科目から必修科目2単位、所属するコースの専修科目を4単位、研究指導科目を6単位修得し、計12単位以上修得すること。 なお、コーチング科学学位プログラム及び他のコースの専修科目を履修することができるが、修了要件単位数には含まれない。											
<コーチング科学学位プログラム> 共通科目から必修科目2単位、コーチング科学学位プログラムの専修科目を4単位、研究指導科目を6単位修得し、計12単位以上修得すること。 なお、体育科学学位プログラムの専修科目を履修することができるが、修了要件単位数には含まれない。											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

（1）－② 授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・ 教育指導体制充実のため「コーチ育成特論」の「准教授1」を追加した。
- ・ 教育指導体制充実のため「コーチング学研究法特論」の「准教授1」を追加した。
- ・ 上記の変更に伴い、専任教員等の配置の「小計」及び「合計」を変更している。

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	研究報告演習	1前	2			3					
	英語論文ライティング	1～3通			2						1
	小計(2科目)	—	2	0	2	3	0	0	0	0	1
専修科目	《体育科学学位プログラム》 (体育スポーツ文化社会学コース)										
	体育スポーツ文化社会学特論	1～3前		2		4	1				
	体育スポーツ文化社会学研究法	1～3前		2		4	1				
	(トレーニング科学コース)										
	トレーニング科学特論	1～3前		2		4	3				
	トレーニング科学研究法	1～3前		2		4	3				
	(健康スポーツ医科学コース)										
	健康スポーツ医科学特論	1～3前		2		5					3
	健康スポーツ医科学研究法	1～3前		2		5					3
	(身体教育・健康教育コース)										
	身体教育・健康教育学特論	1～3前		2		4	1				
	身体教育・健康教育学研究法	1～3前		2		4	1				
	《コーチング科学学位プログラム》										
研究指導科目	コーチ育成特論	1～3前		2		1					
	コーチング学研究法特論	1～3前		2		3					
	小計(10科目)	—	0	20	0	19	6	0	0	0	3
	特別研究指導Ⅰ	1通	2			20	5				4
	特別研究指導Ⅱ(未開講)	2通	2			20	5				4
研究指導科目	特別研究指導Ⅲ(未開講)	3通	2			20	5				4
	小計(3科目)	—	6	0	0	20	5	0	0	0	4
合計(15科目)			—	8	20	2	20	6	0	0	5
卒業要件及び履修方法											
(修了要件) 3年以上在学し、各学位プログラムが定める修了に必要な授業科目を12単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。											
(履修方法) <体育科学学位プログラム> 共通科目から必修科目2単位、所属するコースの専修科目を4単位、研究指導科目を6単位修得し、計12単位以上修得すること。 なお、コーチング科学学位プログラム及び他のコースの専修科目を履修することができるが、修了要件単位数には含まれない。											
<コーチング科学学位プログラム> 共通科目から必修科目2単位、コーチング科学学位プログラムの専修科目を4単位、研究指導科目を6単位修得し、計12単位以上修得すること。 なお、体育科学学位プログラムの専修科目を履修することができるが、修了要件単位数には含まれない。											

- (注) ・ 2(1)－① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
4 科目	10 科目	1 科目	15 科目	4 科目 [0]	10 科目 [0]	1 科目 [0]	15 科目 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{15} = \boxed{} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 和泉グラウンドの土地 に日体幼稚園を移転さ せることに伴い、当該 の土地を日体幼稚園に 移管したため（R4）			
	校 舎 敷 地	126,410.53㎡	0㎡	0㎡	126,410.53㎡				
	運動場用地	81,638.66㎡ 84,065.66㎡	0㎡	0㎡	81,638.66㎡ 84,065.66㎡				
	小 計	208,049.19㎡ 210,466.19㎡	0㎡	0㎡	208,049.19㎡ 210,466.19㎡				
	そ の 他	56,867.13㎡	0㎡	0㎡	56,867.13㎡				
	合 計	264,916.32㎡ 267,333.32㎡	0㎡	0㎡	264,916.32㎡ 267,333.32㎡				
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		67,897.92㎡ (68,314.75㎡)	0㎡ (㎡)	0㎡ (㎡)	67,897.92㎡ (68,314.75㎡)				
(3)教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
		74室	40室	66室	4室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		体育学研究科体育学専攻			51 室				
(5)図書・設備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能 なため、大学全体の数 視聴覚資料は図書に含 む 図書購入及び寄贈増の ため。雑誌契約数変更 のため（R4）
	体育学研究科 体育学専攻	549,518〔137,851〕 (525,661 〔144,595〕) -(534,164 -[135,697])	18,896〔11,678〕 (18,927 〔11,636〕) -(18,896 -[11,678])	11,823〔10,292〕 (11,825 〔10,250〕) -(11,823 -[10,292])	()	()	()		
	計	549,518〔137,851〕 (525,661 〔144,595〕) -(534,164 -[135,697])	18,896〔11,678〕 (18,927 〔11,636〕) -(18,896 -[11,678])	11,823〔10,292〕 (11,825 〔10,250〕) -(11,823 -[10,292])	()	()	()		
(6)図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
		3,128㎡		727席		562,000冊			
(7)体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		42,796.15㎡		野球場、サッカー場、ラグビー場、陸上競技場、温水プール					
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当たり研究費等	750千円	750千円	図書購入費	1,000千円	1,000千円	1,000千円	
		共同研究費等	37,000千円	37,000千円	設備購入費	500千円	500千円	500千円	
	学生1人当たり 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,048千円	748千円	748千円	一 千円	一 千円	一 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	日本体育大学大学院						学生募集停止学科数	4	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	4	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所 在 地	
体育学研究科	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
体育学専攻 (博士前期課程)	2	37	-	37	修士 (体育科学) 修士 (体育実践学) 修士 (コーチング科学) 修士 (コーチング実践学)	1.56	1.56		令和4	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	
体育学専攻 (博士後期課程)	3	9	-	9	博士 (体育科学) 博士 (コーチング科学)	1.77	1.77		令和4	同上	
体育科学研究科											
体育科学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	25	修士 (体育科学)	-	-		昭和50	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	令和4年学生募集停止
体育科学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	12	博士 (体育科学)	-	-		平成9	同上	同上
コーチング学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	12	修士 (体育科学)	-	-		平成30	同上	同上
コーチング学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	6	博士 (体育科学)	-	-		平成30	同上	同上
教育学研究科											
実践教科教育学専攻 (博士前期課程)	2	20	-	40	修士 (教育学)	0.20	0.20		平成29	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	
実践教科教育学専攻 (博士後期課程)	3	5	-	15	修士 (教育学)	0.66	0.40		平成29	同上	
保健医療学研究科											
保健医療学専攻 (修士課程)	2	8	-	16	修士 (柔道整復学)	1.43	1.75		平成30	神奈川県横浜市青葉区鶴志田町1221番地1	
運動器柔道整復学専攻 (博士課程)	3	2	-	6	博士 (柔道整復学)	0.83	0.50		令和2	神奈川県横浜市青葉区鶴志田町1221番地1	
救急災害医療学専攻 (博士課程)	3	2	-	6	博士 (救急災害医療学)	1.50	1.50		令和2	同上	
大学院全体	-	83	-	184	-	-	-	-	-	-	

大 学 の 名 称	日本体育大学						学生募集停止学科数	2	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所 在 地	
体育学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
体育学科	4	800	-	3050	学士 (体育学)	1.05	1.09		昭和24	東京都世田谷区深沢7-1-1	令和4年度入学定員増 (750→800)
健康学科	4	195	-	780	学士 (体育学)	0.97	1.03		昭和37		平成28年度入学定員増 (160→195)
武道学科	4	-	-	-	学士 (体育学)				昭和40	神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221-1	平成29年度より学生募集停止
社会体育学科	4	-	-	-	学士 (体育学)				昭和50		平成30年度より学生募集停止
スポーツ文化学部											
武道教育学科	4	80	-	380	学士 (体育学)	1.07	1.31		平成29	東京都世田谷区深沢7-1-1	令和4年度入学定員減 (100→80)
スポーツ国際学科	4	100	-	400	学士 (体育学)	1.02	1.10		平成29	同上	
スポーツマネジメント学部											
スポーツマネジメント学科	4	145	-	580	学士 (体育学)	1.10	1.22		平成30	神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221-1	
スポーツライフマネジメント学科	4	110	-	440	学士 (体育学)	1.04	1.09		平成30	同上	
児童スポーツ教育学部											
児童スポーツ教育学科											
児童スポーツ教育コース	4	120	-	570	学士 (児童スポーツ教育学)	1.04	1.21		平成25	東京都世田谷区深沢7-1-1	令和4年度入学定員減 (150→120)
幼児教育保育コース	4	50	-	200	学士 (児童スポーツ教育学)	0.96	0.92		平成25		
保健医療学部											
整復医療学科	4	90	-	360	学士 (整復医療学)	1.09	1.11		平成26	神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221-1	
救急医療学科	4	80	-	320	学士 (救急医療学)	1.00	0.87		平成26		
大学全体		1770	-	7080	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<体育学研究科 体育学専攻（博士後期課程）>

（１）－① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	阿江 通良 () <令和4年4月> 教育学博士
		コーチング学研究法特論※ 研究報告演習 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	岡出 美則 () <令和4年4月> 博士（教育学）
		身体教育・健康教育学特論※ 身体教育・健康教育学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	田中 信行 () <令和4年4月> 博士（学術）
		健康スポーツ医科学特論※ 健康スポーツ医科学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	石井 隆憲 () <令和4年4月> 博士（社会学）
		体育スポーツ文化社会学特論※ 体育スポーツ文化社会学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ

【令和４年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	阿江 通良 () <令和4年4月> 教育学博士
		コーチング学研究法特論※ 研究報告演習 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	岡出 美則 () <令和4年4月> 博士（教育学）
		身体教育・健康教育学特論※ 身体教育・健康教育学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	田中 信行 () <令和4年4月> 博士（学術）
		健康スポーツ医科学特論※ 健康スポーツ医科学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	石井 隆憲 () <令和4年4月> 博士（社会学）
		体育スポーツ文化社会学特論※ 体育スポーツ文化社会学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	岡本 美和子 () ＜令和4年4月＞ 博士（看護学）
		身体教育・健康教育学特論※ 身体教育・健康教育学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	木村 直人 () ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		健康スポーツ医科学特論※ 健康スポーツ医科学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	関根 正美 () ＜令和4年4月＞ 博士（体育科学）
		研究報告演習 体育スポーツ文化社会学特論※ 体育スポーツ文化社会学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	杉田 正明 () ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		コーチング学研究法特論※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	西山 哲成 () ＜令和4年4月＞ 医学博士（生理学）
		トレーニング科学特論※ トレーニング科学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	岡本 美和子 () ＜令和4年4月＞ 博士（看護学）
		身体教育・健康教育学特論※ 身体教育・健康教育学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	木村 直人 () ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		健康スポーツ医科学特論※ 健康スポーツ医科学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	関根 正美 () ＜令和4年4月＞ 博士（体育科学）
		研究報告演習 体育スポーツ文化社会学特論※ 体育スポーツ文化社会学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	杉田 正明 () ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		コーチング学研究法特論※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	西山 哲成 () ＜令和4年4月＞ 医学博士（生理学）
		トレーニング科学特論※ トレーニング科学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	黄 仁官 () ＜令和4年4月＞ 博士（体育科学）
		トレーニング科学特論※ トレーニング科学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	依田 充代 () ＜令和4年4月＞ 博士（スポーツ健康科学）
		体育スポーツ文化社会学特論※ 体育スポーツ文化社会学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	荻 浩三 () ＜令和4年4月＞ 修士（体育学）
		体育スポーツ文化社会学特論※ 体育スポーツ文化社会学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	津山 薫 () ＜令和4年4月＞ 博士（体育科学）
		健康スポーツ医科学特論※ 健康スポーツ医科学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	野井 真吾 () ＜令和4年4月＞ 博士（体育科学）
		身体教育・健康教育学特論※ 身体教育・健康教育学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	黄 仁官 () ＜令和4年4月＞ 博士（体育科学）
		トレーニング科学特論※ トレーニング科学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	依田 充代 () ＜令和4年4月＞ 博士（スポーツ健康科学）
		体育スポーツ文化社会学特論※ 体育スポーツ文化社会学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	荻 浩三 () ＜令和4年4月＞ 修士（体育学）
		体育スポーツ文化社会学特論※ 体育スポーツ文化社会学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	津山 薫 () ＜令和4年4月＞ 博士（体育科学）
		健康スポーツ医科学特論※ 健康スポーツ医科学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	野井 真吾 () ＜令和4年4月＞ 博士（体育科学）
		身体教育・健康教育学特論※ 身体教育・健康教育学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鈴川 一宏 () ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		身体教育・健康教育学特論※ 身体教育・健康教育学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	伊藤 雅充 () ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		コーチング学研究法特論※ コーチ育成特論 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	岡本 孝信 () ＜令和4年4月＞ 博士（人間科学）
		トレーニング科学特論※ トレーニング科学研究法※ 健康スポーツ医科学特論※ 健康スポーツ医科学研究法※ 研究報告演習 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	須永 美歌子 () ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		健康スポーツ医科学特論※ 健康スポーツ医科学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	南部(遠藤) さおり () ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鈴川 一宏 () ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		身体教育・健康教育学特論※ 身体教育・健康教育学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	伊藤 雅充 () ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		コーチング学研究法特論※ コーチ育成特論 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	岡本 孝信 () ＜令和4年4月＞ 博士（人間科学）
		トレーニング科学特論※ トレーニング科学研究法※ 健康スポーツ医科学特論※ 健康スポーツ医科学研究法※ 研究報告演習 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	須永 美歌子 () ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		健康スポーツ医科学特論※ 健康スポーツ医科学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	教授	南部(遠藤) さおり () ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大石 健二 () ＜令和4年4月＞ 博士（体育科学）
		トレーニング科学特論※ トレーニング科学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	准教授	佐野 昌行 () ＜令和4年4月＞ 博士（体育科学）
		体育スポーツ文化社会学特論※ 体育スポーツ文化社会学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	准教授	鹿野 晶子 () ＜令和4年4月＞ 博士（体育科学）
		身体教育・健康教育学特論※ 身体教育・健康教育学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	准教授	高井 秀明 () ＜令和4年4月＞ 博士（体育科学）
		トレーニング科学特論※ トレーニング科学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	准教授	大塚 光雄 () ＜令和4年4月＞ 博士（スポーツ科学）
		トレーニング科学特論※ トレーニング科学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大石 健二 () ＜令和4年4月＞ 博士（体育科学）
		トレーニング科学特論※ トレーニング科学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	准教授	佐野 昌行 () ＜令和4年4月＞ 博士（体育科学）
		体育スポーツ文化社会学特論※ 体育スポーツ文化社会学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	准教授	鹿野 晶子 () ＜令和4年4月＞ 博士（体育科学）
		身体教育・健康教育学特論※ 身体教育・健康教育学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	准教授	高井 秀明 () ＜令和4年4月＞ 博士（体育科学）
		トレーニング科学特論※ トレーニング科学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	准教授	大塚 光雄 () ＜令和4年4月＞ 博士（スポーツ科学）
		トレーニング科学特論※ トレーニング科学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	平沼 憲治 () ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		健康スポーツ医科学特論※ 健康スポーツ医科学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
兼任	教授	中里 浩一 () ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		健康スポーツ医科学特論※ 健康スポーツ医科学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
兼任	教授	近藤 智靖 () ＜令和4年4月＞ 博士（体育科学）
		特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
兼任	教授	小林 正利 () ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		健康スポーツ医科学特論※ 健康スポーツ医科学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	平沼 憲治 () ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		健康スポーツ医科学特論※ 健康スポーツ医科学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
専	准教授	佐良土 茂樹 () ＜令和4年4月＞ 博士（哲学）
		コーチング学研究法特論※ コーチ育成特論
兼任	教授	中里 浩一 () ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		健康スポーツ医科学特論※ 健康スポーツ医科学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
兼任	教授	近藤 智靖 () ＜令和4年4月＞ 博士（体育科学）
		特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ
兼任	教授	小林 正利 () ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		健康スポーツ医科学特論※ 健康スポーツ医科学研究法※ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ 特別研究指導Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Elizabeth Onodera () ＜令和4年4月＞ Bachelor of Science Bachelor of Arts
		英語論文ライティング

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Elizabeth Onodera () ＜令和4年4月＞ Bachelor of Science Bachelor of Arts
		英語論文ライティング

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してくださ
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・教育指導体制充実のため、「コーチ育成特論」の担当教員に佐良士茂樹准教授（専任）を追加。
- ・教育指導体制充実のため、「コーチング学研究法特論」の担当教員に佐良士茂樹准教授（専任）を追加。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和２年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) ー① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時における 設置基準上の必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
4	3	4
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) ー② 専任教員等数【大学院】

設 置 時 の 計 画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
20	5	0	0	25	0	20	6	0	0	26	0
(20)	(5)	(0)	(0)	(25)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
17	8	0				17	8	1			
17	(8)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
20	6	0	0	26	0	20	6	0	0	26	0
[0]	[1]	[0]	[0]	[1]	[0]	[0]	[1]	[0]	[0]	[1]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
17	8	1				17	9	0			
[0]	[0]	[1]				[0]	[1]	[△1]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) ー③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員の うち、定年を延長し て採用する教員数
65	1	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) ー④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{26}{25} = \boxed{104} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) ー⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{1}{26} = \boxed{3.84} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) ー⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
		該当なし											
合 計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
		該当なし											
合 計（F）						後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（Ｄ）＋（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｅ）＋（Ｇ）							
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{ 合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{ 設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{25} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別		担当予定科目	後任補充状況		辞任等の理由					
		該当なし											
合 計						後任補充状況の集計							
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<体育学研究科 体育学専攻（修士課程）>

（１）設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

大学設置基準第25条第3項に「教育内容等の改善のための組織的な研修等」と定められ義務化されたFD活動は、本学では平成18年4月1日より、副学長、学科長及び学長が必要と認めた者並びに関係部署職員により委員が組織され全学委員会として活動を展開していた。平成30年4月1日よりインスティテューショナル・リサーチアンドエフェクティブネス室がFD活動の推進に関する事項を統括し、その後平成31年4月1日より教育企画センターの設置に伴い業務が移管された。

教育企画センター管理規程(平成31年2月14日学長制定)

第1条 日本体育大学学則第7条の2に基づき教育企画センター(以下「センター」という。)を置き、組織及び運営について定めるものとする。

第2条 センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 学生教育の充実に関する事項
- (2) 教育課程に関する事項
- (3) 教養教育に関する事項
- (4) 授業時間割編成に関する事項
- (5) 授業展開に関する事項
- (6) FD(Faculty Development)の推進に関する事項
- (7) 所掌事務に係る調査、統計及び報告に関する事項
- (8) 所管する委員会に関する事項

第3条 センターの構成員は、学校法人日本体育大学組織規程の定めにより置く。

2 センターの構成員として委嘱された教員の任期は2年とし、再任を妨げない。

3 前項の教員の授業担当等は、センター業務に支障を来さぬよう配慮するものとする。

第4条 センターの管理運営に関する重要事項を審議するため、運営委員会を置く。
2 運営委員会の組織及び運営については、別に定める。

第5条 この規程の改廃は、学部長会の議を経て学長が行う。

附 則

(施行日)

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

【教育企画センター運営委員会】

年間11回開催し、教育企画センター長(委員長)、各学部長、教育企画副センター長、学生支援センター長、関係職員で構成される委員の3分の2以上の出席をもって会議は成立することとしている。

c 委員会の審議事項等

【教育企画センター運営委員会】

- ・授業評価アンケートに関する事項
- ・令和3年度のFD活動に関する事項 等

② 実施状況

a 実施内容

全学的には、「授業評価アンケート」を実施。学生の声や授業の実際を検証し、授業の在り方、活用について検討した。また、「各種FD」を4回開催。本学教員及び外部講師によるシンポジウムや講演を行い、学生対応、支援する組織づくり等を題材に理解を深めた。

また、令和2（2020）年度後学期にコロナ禍による遠隔授業の継続などにより、学生に関わる様々な問題が顕著化。学部独自で研修会を実施し、問題の共有化を図った。立ち上げられた学部FD小委員会では学部所属教員への研修会やセミナー、意見交流会等を開催。学部独自の課題に対する調査、研修、勉強の機会を設けている。

さらには、教員が自身の研究内容を講演し、参加者と議論することにより研究交流の活性化や自己研鑽につなげることを目的とした「学術セミナー」を開催した。

b 実施方法

各学期終了時に「授業評価アンケート」を行い、各教員が結果を受け担当授業における「振り返り（自己評価）シート」を作成。提出されたシートは、学内ポータルシステムにて教職員が閲覧できるようにすることで、複眼的な視点で工夫・開発を組織的に行えるようすすめている。

更に、「各種FD」としてシンポジウムや講演を計4回オンラインで行い、学生対応、支援する組織づくりを題材に理解を深める機会を設けた。学部により、対面またはオンラインでのセミナーや意見交流会、研修会を実施した。

また、「学術セミナー」は研究活動の推進や研究会の企画・開催等を行なう総合スポーツ科学研究センターの主催により開催した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・ーシンポジウムー

『2020東京オリンピック・パラリンピック後のスポーツの未来とスポーツ系大学・学部の役割』

令和3年9月22日（水） 参加者 181名（教員以外の参加者含む）

・令和3年度全学FD・SD「多様な学生への対応について」（教員以外の参加者及びオンデマンド視聴数を含む）

第1回 令和3年11月30日（火） 参加者 188名

第2回 令和4年 1月27日（木） 参加者 91名

第3回 令和4年 3月11日（金） 参加者 54名

・学術セミナー（教員以外の参加者含む）

第1回 令和3年 5月27日（木） 参加者 106名

第2回 令和3年 6月24日（木） 参加者 82名

第3回 令和3年 7月15日（木） 参加者 89名

第4回 令和3年10月21日（木） 参加者 67名

第5回 令和3年11月18日（木） 参加者 128名

第6回 令和4年 1月28日（金） 参加者 35名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

本学の教学支援システム(Webサービス)NSSU PASSPORT<通称n-pass(エヌ・パス)>では、「授業」を切り口とした、担当教員と履修者のICTホットライン「クラスプロフィール」を有効活用しており、授業評価アンケートや採点、出席管理から授業資料の事前・事後配付、課題配信、小テストに至るまで、単位相当の授業管理を行っている。上記の他、教員より要望のあった「Q&A」機能を追加し、履修者・教員間の一対一でのコミュニケーションが可能となった。有効な授業方法の情報提供を行うほか、n-passの運用方法提案や機能修正の要望、さらには有効な使用方法の教授を求めるなど、授業改善と教員自身のスキルアップに取り組んでいる。

なお、授業評価アンケートでは、設問に対する回答の状況や履修者から寄せられる意見などから、授業担当教員は授業方法を改善や修正、自らの授業について「振り返り（自己評価）シート」を記述した。また、学部により、これらを材料として所属教員で検討するFDを実施し、学生満足度の向上や教員の授業実施における負担軽減に向け取り組み、学部レベルでも授業実施内容の改善に努めている。

また、シンポジウム、講演会、意見交流会等により近年増加している多様な学生について理解を深め、各授業での学生対応への一助とした。教育内容・方法及び学修指導の改善に向け全学的なフィードバックへと繋げている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前学期：令和 3年 7月15日（木）～令和 3年 9月17日（金） 回答結果公表 9月18日（土）

後学期：令和 4年 1月17日（月）～令和 4年 2月28日（月） 回答結果公表 3月 1日（火）

b 教員や学生への公開状況、方法等

本学の教学支援システム(Webサービス)NSSU PASSPORTの専用メニューを使用し実施。各教科の授業担当教員と履修する個々の学生が結びついており、アンケートの回答は匿名化され、各設問に対する回答を自動集計した上でグラフ化（視覚化）されたものが、授業ごとに当該授業担当教員及び当該履修学生に即時還元される。

また、教員は還元された結果を受け、学期毎に「学習成果」や「改善点」を記した振り返りシートを作成する。各教員より提出された振り返りシートは大学ポータルシステムにて閲覧できるようすすめている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

体育スポーツに関する高度の学術研究により、その深奥をきわめ、学術の応用に貢献して体育スポーツの実践あるいは競技力向上に資する研究を推進する高度な学識と研究能力を持った人材を養成することを目的とし、令和4年度に開設した。

令和4年度の入学試験状況は入学定員37名に対し、志願者数103名、入学者数58名である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和4年度に公表予定。

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開 (<http://www.nittai.ac.jp/>)

③ 認証評価を受ける計画

平成27年度（2015）に公益財団法人日本高等教育評価機構による認証評価を受審し、『日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合している』との判定を受けた。よって令和4年度（2022）に受審予定である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ ☒ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。